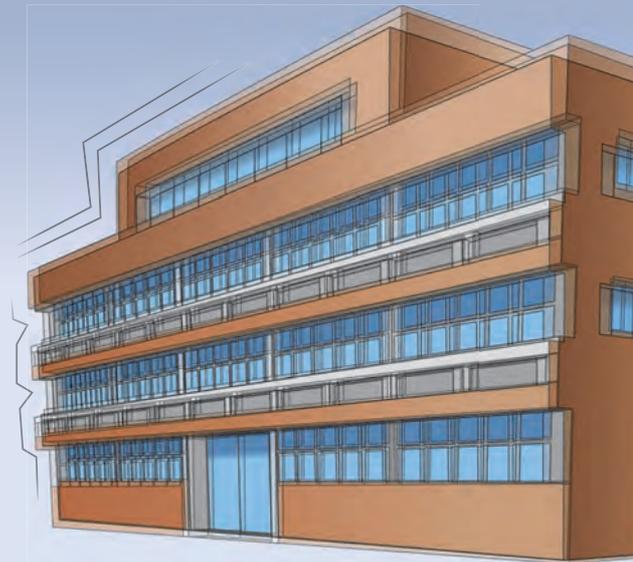


BX

文化シャッター

アスコード new

大変形追従随時閉鎖型防火戸



震災直後でも防火性能および確実な避難経路を確保する 高耐震の大変形追従随時閉鎖型防火戸「アスコード」です。

社会背景

私たちは、2011年に東日本大震災を、2016年には熊本地震などを経験しました。大地震では建物のみならず、ドアやサッシなどの非構造物も大きなダメージを受けます。しかし、そのような条件下でも防火区画に使われる防火戸は、正常に作動し防火性能を保ちながら避難経路を確保するという役割を果たさなければなりません。文化シヤッターは、そのようなドアを作るべく研究開発を重ね、大地震にも対応出来る防火戸を開発しました。



- 私たちは、2011年に東日本大震災を、2016年には熊本地震などの大地震を経験し、その都度、建物のみならずドアやサッシ等に大きな被害が及ぼされた。
- 大地震の過酷な条件下でも、ドア、特に防火戸は正常に作動（閉鎖）し、防火性能を保ちながら避難経路を確保することが望まれる。
- 万が一、正常に作動しない場合には建物残留層間変形による、防火戸（扉）と床及び枠との干渉が考えられる。

この条件下のことを検証するために

建物の残留層間変形による防火戸の 変形を再現する実験装置を新たに考案して実験。

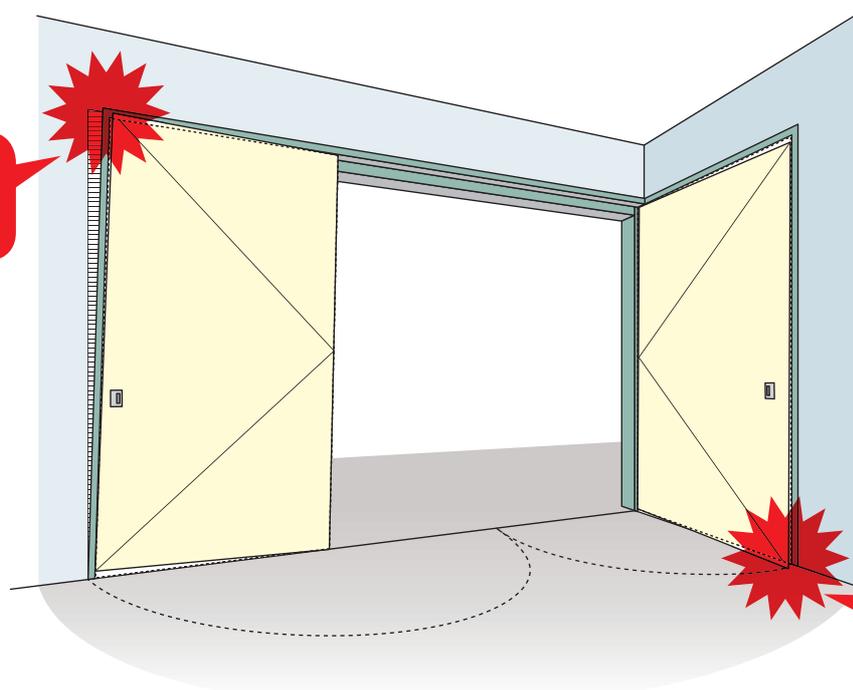
このような場合に備え

一般的な防火戸 (大規模震災時)

大規模震災時は建物や壁が斜めになることで、防火戸の枠も斜めに変形するなどして、防火戸の扉と床及び枠との干渉により扉が閉まらないおそれがある。

枠に当たる

戸先側が上がって枠に当たり、閉まらない。



床と干渉

戸先側が下がって床に当たり、閉まらない。

**大変形追従
随時閉鎖型防火戸**
(大規模震災時)

大規模震災時でも閉まるドア「アスコード」*を開発。

※新築および改修工事にも対応できる。

ポイントは3つ。〔特許出願済〕

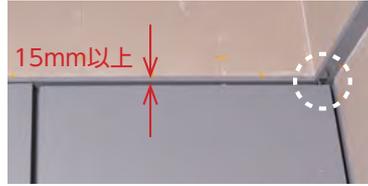
面内、面外およびそれらの組み合わせでの層間変形角1/90(瞬間最大1/60)に対応できる防火戸。

ポイント

1

**「扉干渉防止(ヒンジの軸伸ばし)」と
「扉上部のクリアランス拡大」**

オートヒンジのトップピボットの軸長さを伸ばし、扉上部でのクリアランスを拡大することで扉と枠の接触を極力なくし、同時に扉の干渉を防止する。



ポイント

2

**電磁リリースの
「上下変位吸収機構」**

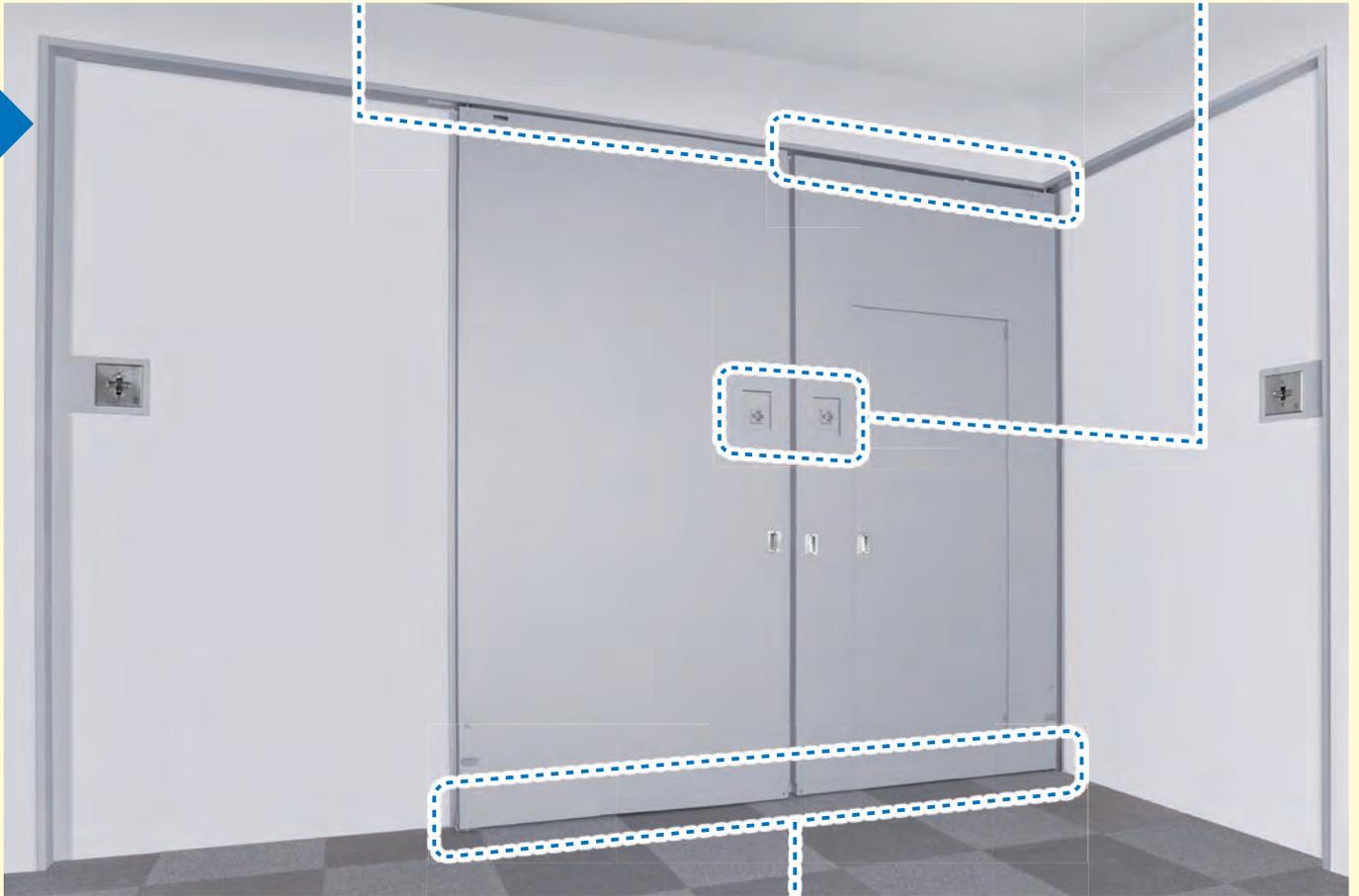
リリースの扉側フック部が建物変形に合わせて変位する。リリースの引っかかりによる閉鎖不良を防ぐ。



平常時



大規模震災時



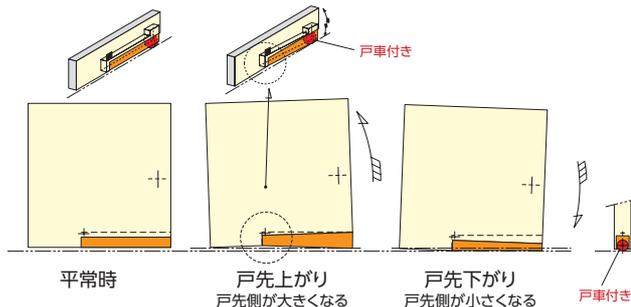
扉 閉鎖時

ポイント

3

扉下部の「変位吸収機構」

扉下部に取り付けた巾木が建物変形に合わせて上下変位する。また、戸先の下部には戸車を内蔵しており、扉の閉鎖を補助する。床との干渉により扉が開かなくなる事を防ぐ。



【製作範囲】

片開き: 最小 W 900 × H1800
～ 最大 W1400 × H3000

両開き: 最小 W1800 × H1800
～ 最大 W2800 × H3000

※製作範囲外の対応につきましては、弊社担当までご相談ください。

文化シャッター株式会社

本社
東京都文京区西片1丁目17-3 〒113-8535
お客様相談室 03 5844-7111
www.bunka-s.co.jp/

製造元
BX 鐵矢株式会社

千葉県柏市十倉2-380番地 〒277-0872

■製品保証

保証期間
施工業者よりの引渡し日(注1、注2)から2年間とします。(電装部品については1年間)
また、修理・点検により部品交換した場合は、交換した部品に対して1年間とします。
(注1)改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
(注2)分譲住宅(建売住宅)・分譲マンションの場合は、建築主様への引渡し日とします。
(注3)ドアクローザや錠前の保証期間は、上記にかかわらず、別途定めた内容によります。

保証内容
取扱説明書、ラベルその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項に該当する場合は除き、無料修理いたします。ただし、遠隔地や離島への出張修理の場合は交通に要する実費をいただく場合もあります。

- 免責事項**
- ①天災その他の不可抗力(例えば、暴風、豪雨、高潮、津波、地震、噴火、落雷、洪水、地盤沈下、火災など)による不具合、またはこれらによって製品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
 - ②製品または部品の経年変化(使用に伴う消耗、摩耗、木製品のそり、干割れ等)や経年劣化(樹脂部分の変質、変色など)、またはこれらに伴う錆、かび、またはその他の不具合
 - ③製品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食またはその他の不具合(例えば、塩害による腐食、大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など)
 - ④自然現象や使用環境に起因する不具合(例えば、結露・凍結、風による振動・共鳴音など)
 - ⑤表示された製品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合(例えば、カタログなどに記載された耐風圧以上の風圧に起因するものなど)
 - ⑥建築躯体の変形など、製品以外に起因する製品の不具合
 - ⑦本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合、または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
 - ⑧当社の手配によらない加工、組立、施工(基礎工事、取付け工事、シーリング工事など)、管理、メンテナンスなどに起因する不具合(例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用した事による変色や腐食、工事中の養生不良による変色、腐食など)
 - ⑨お客様自身の組立て、取付け、修理、改造(必要部分の取外しを含む)に起因する不具合
 - ⑩引渡し後の操作誤り、整備不良または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
 - ⑪使用に伴う接触部分の摩耗・傷・塗装のはがれや時間経過による塗装の退色、樹脂部品の変質・変色、めっきの劣化またはこれらに伴う錆などの不具合
 - ⑫施工当時実用化されていた科学や技術、知識では予測することが不可能な現象、またはこれが原因で生じた不具合
 - ⑬犬、猫、鳥、ネズミ、昆虫、ゴキブリ、クモなどの小動物、またはつるや根などの植物に起因する不具合
 - ⑭機能上支障のない音、振動など感覚的現象
 - ⑮犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合
- *次のような消耗品については有料となります。
気密材、モヘア、小口カバー、操作ツマミなどの合成樹脂部品
*保証期間経過後の修理、交換などは、有料とします。
*本記載によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、その他についてご不明な場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問い合わせください。

■定期点検契約のおすすめ

末永く、安全にお使いいただくためには、定期点検と定期的な部品交換が必要です。定期点検契約をむすんでいただくことにより、専門家による点検と保守を行います。動作状態のチェックと給油、消耗部品の交換などを定期的実施し、正常に働くよう入念に調整いたします。点検の記録は当社に保管し、お客様にそのつど報告いたします。機能低下や不慮の事故を防ぐ定期点検契約は、必要不可欠な製品の一部分です。

修理・点検に関するお問い合わせは
0120-365-113
365日いつでもサービス



突然のシャッターや窓シャッターの故障。そんな時は、文化シャッターサービス(株)のATSS=アットタイムサービスシステムをご利用ください。フリーダイヤルひとつで365日素早く対応いたします。

■お手入れ方法

- スチール、ステンレス、アルミ製品共通
・雨などにより、泥、ほこりなどが付着しますと錆の発生を早め、美観上からも好ましくありません。
・製品が汚れた場合は、ぬれた布などで汚れを落とす後、固く絞った布などで水分をふきとってください。
・水洗いで落ちない汚れは、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を使用したのち、水洗いし、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。
・なお、強風の際(特に台風の場合)は、塩分が内陸部まで飛来することがあるので、風が収まった後、できるだけ早い時期の清掃が必要です。
- (注意事項)
・お手入れの際は、柔らかい布をご使用ください。
・製品へのキズを避けるため、金属ブラシ、たわし、みがき粉等の硬いものでこすらないでください。製品にキズが付くと、錆の原因となります。
・酸性またはアルカリ性の洗剤、ベンジン、シンナー、ガンソリンなどの有機溶剤は、変色や腐食の原因となりますので使用しないでください。

●お手入れ回数の目安(1年あたりの回数)

	海岸地帯	工業地帯	市街地	田園地帯
スチール(塗装品)	1~4	1~3	1~2	1
ステンレス(素地)	10~12	8~10	8~10	4~6
アルミ(クリア塗装)	1~4	1~3	1	1

回数はあくまでも目安なので、汚れの状況に応じて清掃回数を増やしてください。

- ステンレス部品の注意事項
・ステンレスは、錆びない素材と考えられがちですが、絶対に錆びない素材ではありません。通常、塗装など表面処理をしない状態で用いられますので、清掃も頻繁に必要です。
・初期の錆については、ぬるま湯で薄めた中性洗剤を使用したのち、水洗いし、最後に乾いた布で水分を拭き取ってください。
・泥、ほこり、塩水、排気ガス中の有害成分、洗浄薬液、もらい錆の付着は、ステンレス自身の錆に発展します。早めの清掃が必要です。
- スチール塗装品の再塗装
再塗装時期は、塗料種類や環境により異なりますが、3~7年に1度が適当です。

カタログの色は製品と多少異なる場合があります。製品改良のため予告なく仕様の変更をすることがあります。

